

JR東海労

4WD

大阪第一・二運輸所分会

No.66

2018年9月14日

会社の言う「安全最優先」  
とは絵空事だ！！

安全は輸送業務の最大の使命・・・

疑わしいときは・・・最も安全とみとめられる・・・

台風21号が直撃する中、乗務された皆さん、大変お疲れ様でした！

9月4日、台風21号の上陸が予想され、災害が想定される中、JR西日本は、前日早々に「山陽新幹線（新大阪～広島）の全列車の運行を10時から中止する」と発表しました。

一方、JR東海は、台風20号に続き、間引き運転を決定するものの、全列車の運行中止の判断は下しませんでした。そのため、大幅な列車遅延が発生し、その犠牲は、旅客と乗務員をはじめとした現場社員へと転嫁されることとなりました。

また、この台風の最中、定例訓練、運転適性検査、昇格試験を強行実施しました。その結果、帰宅困難者が続出しました。

当然にもJR西日本の在来線含め早々に運行中止が決定されている中であり、家族の心配など、どこ吹く風といったことが、現実に行われました。それは、非情としか言いようがありません。

会社は、普段から「安全最優先」を掲げ、乗務員に対しては、「危険と思ったら、空振りでも良いから躊躇せず停止手配」と周知徹底させています。

しかし、今回の強行運行もまさに、「安全」とは真逆であり、運行・営利優先としか言いようがありません！

皆さん！一緒に声を上げましょう！

☆災害が想定される場合は、早い段階で運行中止を決定せよ！

☆現場長の判断で、早めの帰宅を指示するのが会社の責務だ！